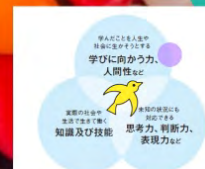


地域と学校の連携・協働体制構築研修会
(兼) 地域学校協働活動推進員等研修会 (オンライン研修) 20210203

地域学校協働活動の意義について

志々田まなみ (国立教育政策研究所)
shishida@nier.go.jp

「学び」を
変えたい



「地域学校協働」
の必要性

「地域学校協働」
をすすめる
ポイント

参考資料・文献

文部科学省webページ「学校と地域でつくる学びの未来」<https://manabi-mirai.mext.go.jp/>

ポール・タフ『私たちは子どもに何ができるのか——非認知能力を育み、格差に挑む』2017, 英治出版

妹尾昌俊『「先生が忙しすぎる」をあきらめない—半径3mからの本気の学校改善』2017, 教育開発研究所

経済協力開発機構『社会情動的スキル——学びに向かう力』2018, 明石書店

デイヴィット・コルブ他『最強の経験学習』2018, 辰巳出版

厚生労働省『国民生活基礎調査』平成28年版

知識理解・情報収集

より良い社会(地域)とは何か？

課題・問いの発見

その社会(地域)を作り・支えるためにどんな力が必要か？

解決策の提案

その力を育てるために
どんな学ぶ機会が必要か？

協働・意欲

変化の激しい社会を生き抜く力

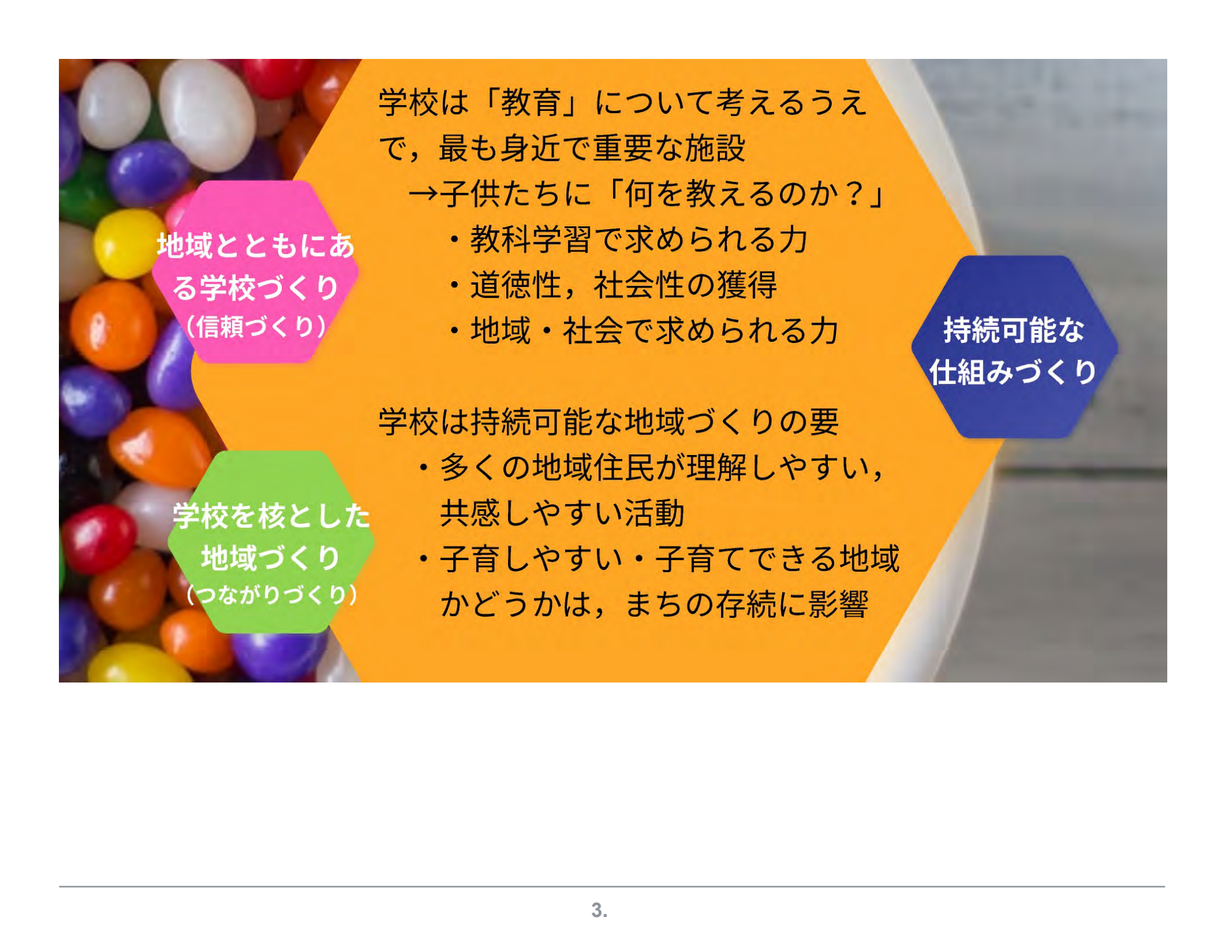
「社会に開かれた教育課程」

中央教育審議会答申初等中等教育分科会
教育課程企画特別部会論点整理より

- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと
- ② これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり自らの人生を切り拓(ひら)いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと
- ③ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること

子供と大人と、地域と学校とが、協働しながら
「より良い社会(地域)づくり」に取り組む学習

(社会教育法では「地域学校協働活動」と定義)



地域とともにあ
る学校づくり
(信頼づくり)

学校は「教育」について考えるうえで、最も身近で重要な施設

→子供たちに「何を教えるのか？」

- ・教科学習で求められる力
- ・道徳性，社会性の獲得
- ・地域・社会で求められる力

持続可能な
仕組みづくり

学校を核とした
地域づくり
(つながりづくり)

学校は持続可能な地域づくりの要

- ・多くの地域住民が理解しやすい，共感しやすい活動
- ・子育てしやすい・子育てできる地域かどうかは，まちの存続に影響

保護者や地域住民から信頼される学校づくり

①一般化信頼

「学校だから」，「先生だから」という理由で
信頼される

②契約的信頼

学校（業者）は，保護者（顧客）からの期待に応え
ることができたからという理由で，信頼される

③関係的信頼

同じ情報や価値，経験を共有する中で，
「この人だから，仲間だから」という理由で，信頼される

参考文献

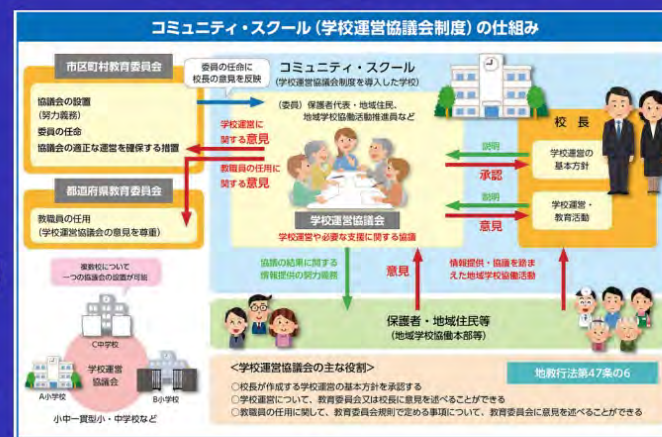
露口健司「保護者ネットワークと学校信頼」

学校運営協議会

コミュニティ・スクール

○開かれた学校づくり→地域とともにある学校づくり コミュニティ・スクール

- ・合議体
- ・学校運営に関する情報の積極的な公開と課題の共有化，課題解決に向けたアイデアや支援策の協議，の場（学校評議員制度や第三者評価委員とは別）
- ・小中の9年間の学び(時)，学校・家庭・地域での学び(場)を総合的に考えながら，子供の学びの充実・改善を考えるための協議の場（地域の中にある学校という視点）



○実際の社会の中で生かせる学力できるカリキュラム・授業づくり

→社会に開かれた教育課程(2020年度~)

- ・学ぶだけでなく，どう活用するかまで視野に入れた教育環境の整備
- ・社会に出た後を見据えた知識・技術，道徳性・社会性の検討



- 学校・家庭・地域が足並みをそろえて、地域ぐるみでおこなう次世代育成のための事業
 - 地域ぐるみの活動に参加することで、地域住民どうしの横の連携や、世代間交流を促進する事業
 - ：子供と大人
 - ：子育て世帯とそれ以外の世帯
 - ：関わりの薄い地域住民どうし
- etc.

①学校にとっても、地域にとっても課題である
防災という視点からの学びあい

先進事例)

高知県南国市稲生小学校の取組

地域学校協働活動推進フォーラムin南国市

<https://www.youtube.com/watch?v=PiQ7t2RFWn0>

②地域づくり活動の人手不足，子供の数そのものの減少の中で，子供に関わる地域関係者どうしが
結束しあわねば！

=横のネットワーク→**地域学校協働本部**

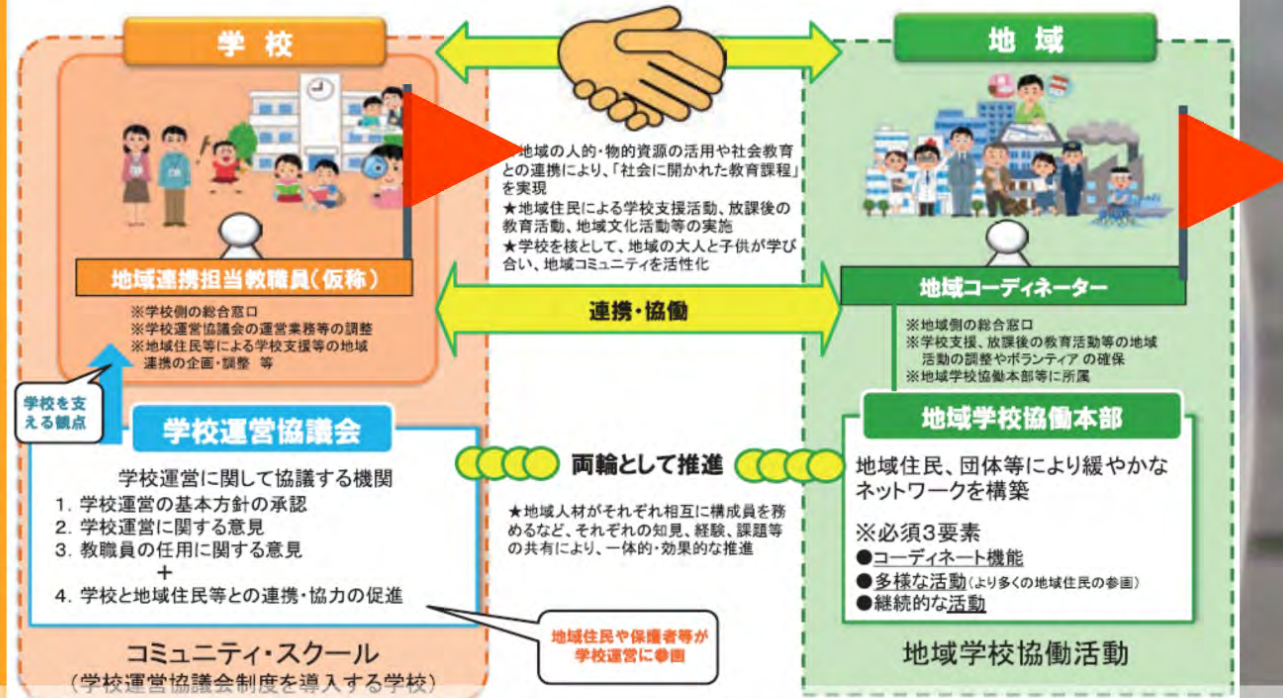
先進事例)

帯広市「こども学校応援基金」

https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/gaxtukoukyouikubu/gakkoukyouikusidousitu/kodomo_gakko_ouen.html

学校と地域の効果的な連携・協働と推進体制（イメージ）

－パートナーシップの構築による新しい時代の教育、地方創生の実現－



地域・社会のニーズをくみ取り，魅力的な教育資源を取り入れることで，学校教育を充実させる仕組み

地域の要（核）である学校での活動に，地域全体で関心を持ち，関わることを支援するための仕組み

学校運営協議会の推進のポイント

- 委員の選定が肝
 - ：宛て職ではなく，やってもらいたい人を選ぶ
 - ：きらりと光るPTA役員さんを逃さない
 - ：利害関係者（ステイクホルダー）の自覚がある方を選ぶ
- 本音，弱音，課題を話せる場にする
- 教育委員会事務局のサポートが大切
 - ：「地域とともにある学校」のビジョン，推進体制の基本は教委が示す（学校にお任せでは×）
 - ：指導主事，社会教育主事が相談役に
 - ：研修開催，実践事例の紹介を積極的に
- 誰でもわかる言葉，発言しやすい空間
 - ：教員間だけで分かる用語，資料はタブー
 - ：小グループ討議やワークショップなど工夫

地域学校協働本部・活動の推進ポイント

- コーディネーターの存在が大切
 - ：校内にコーディネーターの居場所を
 - ：複数コーディネーター配置は有効
- 次年度の準備にこそ力点をおく
 - ：学校と地域のスケジュール感覚にはズレ
- スクラップ&ビルドが基本
 - ：「充実・改善」が目に見える小さな活動からスタート
 - ：「新しいこと＝難しいこと」が学校の常識
- 広報活動を積極的に
 - ：行かなくて損をしたと思わせられたら成功
- この活動がなぜ必要なのか，子供の何に役立つのか説明することが大切
 - ：地域コーディネーターは学校と地域の通訳

社会的情緒的能力

目標に向かって 頑張るチカラ

- 勤勉性
- grit 粘り強さ・やり抜く力
- 先を見通す力・計画性

人とうまく 関わるチカラ

- 協調性
- 思いやり、優しさ
- 言葉でうまく表現する力

感情をうまく制御 するチカラ

- おちつき
- 寛容さ
- ストレスの発散力

他者や外界に 関心を向けるチカラ

- 好奇心・探究心
- 明るさ・社交性
- 積極性

環境要因

ここにあげたのは一部

①人間は経験の中から学ぶ。学習とは、自分の行動によって生じた経験を振り返り、概念化し、それを他の状況に当てはめられるか試行錯誤した経験の蓄積の中から、次の行動を決定するプロセスである。

(D・コルブ)



**「自分の行動によって生じた経験」が
学習の出発点。行動の変化が学習成果。
＝学習を活用する・応用する場の確保**

②人間の行動は、パーソナリティ特性と環境（境遇・社会的役割etc.）によって決定される

(K・レヴィン)



**パーソナリティは変化しない・しにくい
ものであるため、環境を変えることが、
行動を変える重要な選択肢となる。
＝多様な環境，学習機会の確保**